

田植えの進捗状況（5月20日現在概況速報）について

中央農業改良普及センター県域普及グループ

各農業改良普及センターでは5月20日現在の田植えの進捗状況について一斉調査を実施しました。調査の結果及び栽培管理のポイントは以下のとおりです。

【調査結果】

- 1 5月20日現在、県全体の田植え進捗率は72%であり、直近3ヵ年とほぼ同じ進捗である。今後は好天が予想され、田植え準備も進んでいることから、適期内（5月15日～25日）に田植え終期を迎えると見込んでいる。
- 2 地帯別の田植え進捗率は、北上川下流は81%であり、田植え終期に近づいている。また、東部は66%、北上川上流は60%と田植え盛期を迎え、北部は13%で田植え始期を迎えている。

表1 地帯別田植えの進捗状況（5月20日現在、各農業改良普及センター調べ）

地帯名	同時期				田植え時期（月/日）								
	進捗率（%）				本年（月/日）			平年			平年差（日）		
	本年	H29	H28	H27	始期	盛期	終期	始期	盛期	終期	始期	盛期	終期
北上川上流	60	37	52	58	5/15	(5/20)		5/16	5/20	5/26	-1	(0)	-
北上川下流	81	76	81	83	(5/8)	(5/15)	(5/21)	5/10	5/15	5/21	(-2)	(0)	(0)
東部	66	52	73	83	5/11	(5/16)		5/11	5/16	5/22	0	(0)	-
北部	13	7	10	24	5/19			5/20	5/24	5/27	-1	-	-
県全体	72	62	70	74	(5/10)	(5/17)		5/12	5/17	5/23	(-2)	(0)	-

- 注) 1 平年値は平成20年～29年の10カ年の平均値
 2 始期：10%終了、盛期：50%終了、終期：90%終了
 3 括弧内の数値は未確定市町村があるため推定値

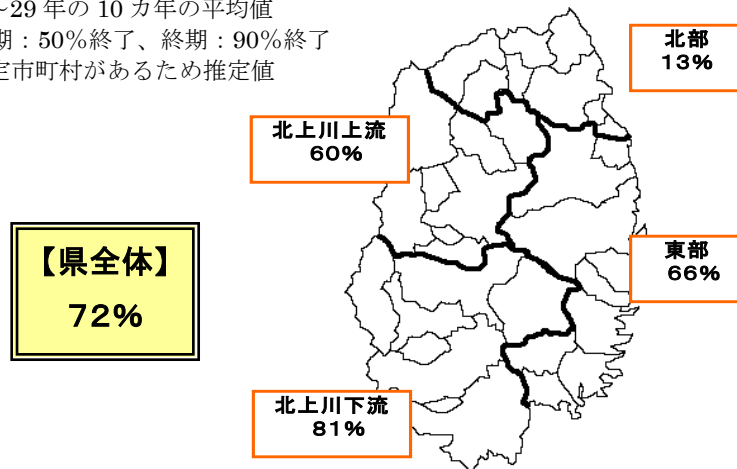


図1 地帯別田植え進捗率（5月20日調査：各農業改良普及センター調べ）

【栽培管理のポイント】

- 1 田植え直後は植え傷みにより苗の吸水力が低下するので、活着までは蒸散防止のためやや深めの水管理（葉先が2～3cm水面から出る程度）とする。
- 2 活着後は分げつ発生を促進するため2～3cmの浅水とし、水温の上昇に努める。ただし気温が15℃以下の寒い日は、葉先が出る程度のやや深めの水管理とする（低温でも日照があり風の無い日は、日中は浅水にして水温の上昇をはかる）。
- 3 入水は気温と水温の温度差が少ない朝方や夕方に行い、日中は水を動かさないこと。
- 4 5月18日～19日の大雨により冠水した水田では、排水路のゴミを除去するなど速やかに排水するよう努めてください。また、圃場に流れ込んだゴミなどを片付けましょう。
- 5 除草剤散布後に大雨に見舞われた水田では、除草剤の効果が十分に発揮されず雑草発生が早まる可能性もありますので、雑草の発生状況に応じて薬剤散布を行いましょう。
- 6 いもち病対策として箱施用剤を散布せず大雨に見舞われた水田では、今後いもち病の発生が早まる可能性もありますので、いもち病の発生状況に応じて薬剤散布を行いましょう。